アメリカ合衆国に対しパリ協定復帰と
地球温暖化対策への野心的な取組みを強く求める

2025 年 4 月 9 日

東京都勤労者スキー協議会

2025 年 1 月 21 日に、貴国のトランプ大統領は地球温暖化対策の国際枠組である「パリ協定」からの離脱を決定し、1 月 27 日に国連に正式に通知しました。今後 10 年間の取り組みが極めて重要とされる中、先進国最大の温室効果ガス排出国のトップである大統領が国際社会の努力に水を差すことは強い非難に値し、強く抗議をするものです。

アメリカ合衆国が「パリ協定」を遵守する立場に立ち、「パリ協定」に復帰して地球温暖化対策を改めて推進することを強く求めます。

気候変動・地球温暖化は、”ＪＡＰＯＷ“と呼ばれ海外からの訪問者にも高く評価されている日本のパウダースノーを奪い、スノースポーツを愛する人々の冬季の楽しみを奪うものです。このパウダースノーがもたらす恩恵が私たちの孫の代、さらにそれ以降にも享受されることを強く望みます。

アメリカ合衆国の動向は、地球温暖化対策の成否を大きく左右します。東京都勤労者スキー協議会は、アメリカ合衆国政府が地球温暖化対策において果たすべき積極的な役割を自覚し、「パリ協定」に整合した野心的な目標を掲げ、「パリ協定」の母体である国連気候変動枠組み条約（UNFCCC）に基づく財政支援などを通じて、国際社会の取組みに大きく貢献することを強く求めるものです。